

創立40周年記念公開研究発表会 ～チーム苓北、3年間の研究の取組～

本校の創立40周年を記念して、11月11日（土）に公開研究発表会を開催し、約30名程の参加者がありました。本校3年間の研究成果の発表や公開授業、代表事例の児童生徒について参加者とのグループ討議、外部講師による講演を行いました。

グループ討議では、前年度から本校で取り組んでいる「苓北アタック20」を参加者も一緒に体験していただきました。苓北アタック20とは、授業における不安や悩みの書いてある「お悩みシート」に事前に目を通し、悩みに対する児童生徒の「困り感」やそうになってしまう「背景」について考え、20分という短時間で、授業者が求めているものを持ち帰れるような、効率的な話し合いのスタイルです。参加者にも事前に代表事例となる児童生徒のお悩みシートを読んでいただき、話し合いを行いました。参加された方の中には、「小グループで意見が出しやすく、体験できて勉強になった。」「ファシリテーターが背景にあるものを1つに絞り込み、その解決策を考え合ったので、20分という限られた時間の中でも多様な意見が出し合え、とても有効な手法で参考になった。」等の声があり、複数の視点で効率よく話し合うというスタイルを発信することができました。



講演では、西九州大学子ども学部心理カウンセリング学科の古川勝也教授を招き、「新学習指導要領の方向性を踏まえた授業づくり」という演題で講話をいただきました。育成すべき資質・能力の三つの柱を中心に「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」というポイントを押さえて、次期学習指導要領の示す方向性について詳しく知ることができました。特に授業の中で大切なのは「何を教えるか」であり、児童生徒の実態に応じた教育内容をどのように指導し評価するのか、カリキュラム・マネジメントの視点からも具体的に話をしていただき、日頃から改善して次につなげていくことの大切さを改めて考えさせられました。



グループ討議や講演を通して、本校のこれからの課題も見つかり、今後もこれまで積み上げてきた取組に加え、次期学習指導要領への理解を深めて、学校全体「チーム苓北」として研究していきたいと思えます。

御参加いただきました皆様、多くの情報交換や御意見をいただき誠にありがとうございました。